

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 654
部 名	生涯学習部	課 名	小山公民館	課長名	中里和男
事務事業名	小山公民館区運動会				
予算上の事務事業名	公民館活動費小山公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			15110	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
小山公民館区運動会開催要項					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
多くの人々の積極的参加を得て、広く市民の間にスポーツ普及振興を図るとともに、健康で明るい市民生活の推進と地域の人々の親睦を図る。				小山公民館区内一般市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
平成16年9月19日(日) 会場 向陽小学校運動場 参加者数 2,000人 実行委員会(3回) 役員会(2回) 9自治会対抗により、陸上種目、レクリエーション種目、子ども・高齢者種目が20種目					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他公民館や他自治体でも地区運動会を実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	130	130	130	130	130
一般財源	130	130	130	130	130
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,200	1,169	920	920	920
事業コスト合計(a)	1,330	1,299	1,050	1,050	1,050
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	小山公民館区運動会			対象名称(単位)	参加者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,330	1,299	1,050	1,050	1,050
対象数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
単位あたり経費(円)	665	650	525	525	525
前年度比		0.98	0.81	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加人数（人）		指標式と指 標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	2,000.0	2,000.0	2,000.0			
目標	1,807.0	1,822.0	1,836.0	2,200.0	2,200.0	
目標達成度	1.11	1.10	1.09			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	地域住民の参加率（％）		指標式と指 標の説明	参加者数/管内人口		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	11.1	11.0	10.9			
目標	10.0	10.0	10.0	12.0	12.0	
目標達成度	111.0	110.0	109.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		核家族化や高齢化社会が進む中、地域同士や異年齢が交流する公民館活動は、ますます必要となる時代を迎えるため、このような事業は、さらに充実を図る必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
中学校との連携を図り、役員としての参加など中学生の参加率を高め、地域全体の事業として推進する。			中学生の参加が少ない。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		地域との連携を強化し、事業効果を高める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				